

2019年度 事業報告

学校法人桜丘学園

専門学校ファッションカレッジ桜丘

[教育理念]

学生一人ひとりを大切にし、愛情を持ってきめ細かな指導で専門知識、技能の習得及び人間性豊かな人材を育成する。

[基本方針]

- 創立70有余年の伝統と蓄積を生かし、さらなる成長軌道に乗せ、確固たる経営基盤を築く。
- 全員が当事者意識と責任感を持ち、力を結集して桜丘の永続的发展に努力する。

[2019年度基本計画]

- 学生の安定確保の仕組み作りを進め、資産運用に頼らない構造変革。
 - ① 重要なカリキュラムは学内教師が担当する体制を整え教師の質的向上を図る。
 - ② 広報活動の選択と集中を推進し、入学者の安定確保を図る。
 - ③ 時代のニーズに合わせ広報活動や学内設備のIT化を推進する。

[I] 専門学校（ファッションカレッジ桜丘）

1. 学生募集の強化

- 募集人員 本科34名、国際コース36名、合計70名を必達目標とする。
- 学生総数120名体制の確立。

(1) 母集団の形成方法の変更。

リスティング広告費用を2018年度実績80万円から300万円へ大幅増額。

インターネット検索(スマートフォンから)で資料請求するケースが圧倒的。

桜丘の露出度を高めるため短期間に費用を投下して、広告を表示。自校ホームページに誘導。

(2) SNSの投稿頻度を上げる。

Twitterを中心に学校情報、学生情報をリアルタイムに投稿。

学校案内、ホームページで表現されている桜丘のイメージの裏づけ情報を提供する。

(3) 未出願生徒のアンケート調査

オープンキャンパスに参加しながら、最終他校に入学した生徒へアンケート調査を実施。

桜丘を選ばなかった理由を明確にして、データ化。弱点を克服し次年度の広報活動に活用する方法を構築。

(4) 日本語学校との関係強化。

1) 留学生の質的向上を確保する為、現状の入学倍率5倍を保つ。

2) 日本語学校の選別を進め、優良日本語学校との連携をさらに強化し、優秀で質の高い留学生を早期に安定確保する。

3) 日本語学校及び進学支援企業との情報交換を密に行い、留学生の最新動向を把握する。

(上記の施策を講じた結果報告)

資料請求は前年対比87%と2年連続で前年を下回る。来校者数は前年対比97%とほぼ前年並みを確保。オープンキャンパスの来校者数は減少したが、日時を自由に決められるスペシャル学校見学会が好評だった。結果入学者数は前年対比107%と増加した。

2. 学生指導の強化

●教員の指導力の向上と標準化を図る。

毎月1回の教員会議の他に各学科ごとに学生指導状況を確認。学生への指導方法の標準化を図るとともに質の高い指導ができる様に情報交換を行う。

●各カリキュラムの内容の精査と内部教師による授業の内製化を進め、学生のニーズを把握しやすくし、満足度を高める。

(1)ファッションビジネス科

企業と連携して実践力を身につける「産学協同プロジェクト」及び学内2大コンテストである「FCSプロモーションコンテスト」のカリキュラムを「学内プロジェクト」の授業の中で、学内教師が担当し、きめ細やかな指導で完成度の高いものを追及する。

(2)ファッションクリエイイト科

コンピューター服飾製図ソフトのアパレルCADを「クリアコンポⅡ」に刷新し、最新の学習環境で技術を身につけさせる。また、パターンマジックⅡ 3Dを導入し、実践的で、より高度な技術を身につけさせる。

(3)選択科目

コンテストチャレンジの選択授業を内部教師に変更し、学生個々の個性を見極め、引き出しコンテストの入賞を目指す。

(4)検定の合格率のアップ

検定欠席防止のルールを策定し、一定の成果があったが、検定の合格率は低下傾向にある。特に2年次後期に受験する検定の合格率の低下に歯止めをかける新たな仕組みをつくる。

(上記の施策を講じた結果報告)

ファッションクリエイト科

学科全体の37%の学生が一般企業の就職を希望せず自身のブランド立ち上げなど進路は様々であった。

就職希望者の78%は就職。ほぼ全員が企画職、縫製職など希望の職種での就職が叶った。

パターンメイキング検定3級は筆記合格は100%であり、実技合格は75%と昨年より5ポイント低下、全国平均も下回った。

ファッションビジネス科

企業の採用活動の早期化が目立ったが、柔軟に対応ができ、就職率は86%とほぼ満足いく結果だった。

ファッション販売能力検定2級及びファッションビジネス能力検定2級とも合格率は昨年を大きく上回った。

ファッション販売能力検定3級の合格率は88%であったがファッションビジネス能力検定3級の合格率は全国平均を若干下回った

技術科ファッション専攻

就職率は100%達成。企画、パタンナーと職種の希望も叶った。

パターンメイキング検定2級も100%合格。

国際・流通・ITビジネスコース

就職状況は、就職希望者は全体の92%。希望者全員が内定。就労許可された卒業生は32%。他は現在申請中。

(5) 中途退学者ゼロの施策。

- 1) 4月入学時、10月後期開始時での面談の実施。また、問題発生時の迅速な情報把握の為の面談等、学生の状況を的確に把握し、教員会議で共有する事で全教職員で退学防止に努める。
- 2) 国際コース1年生は出席率に注視し面談を実施。アルバイトの環境が大きく影響する為、勤務先とも連携し学生指導にあたる。2年生は進路希望を中心に面談を実施。就職、進学、帰国と個別の進路に応じた的確に指導する。
- 3) プレゼンテーションや授業成果の発表等、学生のモチベーション向上と達成感を満たす施策を実施する。

(上記の施策を講じた結果報告)

本科学生の退学率は抑えられたが、留学生のオーバーワーク問題で在留更新不許可の学生が多発した。

3. 就職指導の強化

●就職希望者の100%就職を目標とする。

(1)本科は販売職以外のデザイナー、パタンナー、縫製職等の技術職の求人の開拓を強化する。

(2)就職指導担当だけでなく、教職員全員で、全校一丸となり、就職支援を行う。

(3)学生のニーズをくみ取り、本科、国際コースとも校内企業説明会を継続的に実施する。

(4)国際は外国人雇用サービスセンターの活用を促進。

外国人雇用サービスセンター主催の面接会やセミナー、ガイダンスを積極的に活用する。

(上記の施策を講じた結果報告)

就職率は73%と低調。近年就職意識が低く、就職活動をしない学生が増加している。

ファッションクリエイティブ系の学生はほぼ全員が企画系または縫製系の職業に就けた。

販売職も希望のブランドがある企業に就職ができた。

[Ⅱ] 事務部門の再構築

(1) 中長期の収支予算案及び資金繰り表の策定。

(2) 学生用パソコン及び教職員用パソコンも全て最新ソフト搭載のパソコンに刷新。

アパレルCADもクレアコンポⅡ及びパターンマジックⅡ3Dを導入し、最新の学習環境を整備する。

また、校内Wi-Fi設備を施し、どの教室からもインターネットに接続できる環境を整えペーパーレス化の授業を推進する。

(3) 書類のデータベース化を進める。

(上記の施策を講じた結果報告)

デスクトップ型のパソコンからノート型パソコンに刷新し、校内Wi-Fi環境を整えることにより、機材の使用効率が飛躍的に上がり、授業内容も充実した。

以上